

つながり

紀南病院スローガン 令和8年1月 考えて あなたが放つ その言葉

2月 その笑顔が温かい

3月 考えよう 相手に届く その一言の重みを



紀南病院の夜明け 令和8年元旦 紀南病院屋上ヘリポートより撮影

■病院理念

優しく、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

■基本方針

1. サービス精神（KINAN）の徹底

（K）気持ちをこめて、（I）いつまでも、（N）納得のいく、
（A）安心で安全な、（N）任務の遂行

2. 患者さんの権利を尊重し、わかりやすい説明を励行

3. 生活の質(QOL: quality of life)を中心とした診療と援助

4. 行政や医師会と協同した地域医療の向上（救急医療、高齢者医療、健診、地域連携、福祉など）

5. 職員研修の強化と遠隔地医療教育の必須化

6. 職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供



2026年を迎えて

紀南病院 院長 加藤 弘幸

新年あけましておめでとうございます。紀南病院の院長を拝命し6回目のお正月を迎えることとなりました。

コロナウイルス感染症も6年が過ぎ、幸い収束したままで、散発性に感染者は出ておりますが落ち着いております。一方昨年末からはインフルエンザが1年前よりも流行しておりますので体調には十分気を付けてお過ごしください。感染予防の基本は、マスクの着用と手指衛生と考えております。

紀南病院の経営に関しましては、全国の医療機関のほとんどがそうであった様に、コロナ前の様な患者数の増加は見込まれず、患者数減少に伴う収入の低下、人件費の増加、物価高による材料費、薬剤費の高騰、などで非常に厳しいものでした。また、そういった中でこの東紀州の医療人口は2025年がピークと言われており、今後患者数を増やして収入を得るという方針はこの地域には合わない、と言わざるを得ません。この先は、人口減少や患者数の減少と共に病院の規模を縮小する事しかできないのか、と思われましたが、外部に委託して紀南病院の経営状況を分析していただきましたところ、当院の回復期病棟の機能を充実させる事により、患者数を増やすことなく収入を増加させるプランがあることが示唆されました。もちろんこれで一気に黒字経営になるわけではございませんが、少しでも収入を増やして、これに並行して支出削減に関しては不採算部門の過不足のない整理を行っていくことが重要と考えております。紀南病院としましては、こういった状況や分析結果を踏まえつつ来年度より段階的に改革プランを進めていく所存です。

また、2026年度からは、国が指導する新しい地域医療構想が始まります。これは2040年に向けて、地元の基幹病院と在宅との連携をさらに強化して、介護や福祉の部門を手厚く充実させたものにする、という方針ではないかとと言われております。

当院は、地域の中核病院として住民の皆様に住み慣れた場所で安心して生活ができるための医療体制を提供することが使命と考え、引き続き急性期医療はもとよりそれに続く回復期医療を充実させつつ在宅支援を行ってまいります。在宅支援に関しては、院内リハビリテーション施設を十分活用していただき、地域包括ケアシステムを推進し医療・介護・福祉などの多職種で連携して顔の見えるシームレスな関係を構築していくことが重要という今までの方針に何ら変わりはありません。さらに、サブアキュートやレスパイト入院も積極的に受け入れ地域のニーズに貢献できる様にと考えております。

このように、本年も紀南病院は地域に求められる医療体制を提供し、この地区の中核病院としての使命を果たすべく、急性期から回復期の医療はもとより救急医療や災害時の医療にも尽力していく所存です。

今後とも地域の皆様のご理解とご支援を賜れば幸いです。

紀南病院組合議会 12月定例会を開催

令和7年12月25日(木)、紀南病院組合議会12月定例会が開催されました。議案は3議案で、令和7年度人事院勧告に関連する給与条例の改正や令和7年度の紀南病院補正予算(第1号)等が提案され、全議案が原案通り可決されました。



もしもに備えて ～徒歩で確かめた“参集の道”～

南海トラフ地震などの大規模災害が発生した場合、沿岸部の道路は津波により寸断され、自動車での通勤が困難になることが想定されます。このような状況を踏まえ、発災時には職員が徒歩で参集することを前提としたウォーキングイベントを令和7年12月13日(土)に実施しました。

当日は、御浜町・熊野市在住者は御浜小学校から、紀宝町在住者はウミガメ公園から出発し、実際に歩いて参集経路を確認しました。

実際に歩いてみることで、所要時間や浸水が想定される区域、道路の高さ(海拔)等、机上では気づきにくい課題を把握することができました。今回の訓練で得られた気づきを今後の防災対策やウォーキングイベントに活かし、災害時にも地域医療を守る体制づくりを進めていきます。



患者さんの安全と尊厳を守るために

～「身体拘束最小化」への取り組み～

当院では、患者さんが安全に、そしてできる限り自由に穏やかな入院生活を送れるよう、「身体拘束の最小化」に取り組んでいます。身体拘束は命を守るためにやむを得ず行う場合がありますが、患者さんにとって大きな苦痛を伴うことも事実です。そのため、当院では独自の判断基準を設け、必ず複数人で必要性を検討し、開始後も毎日評価を行っています。不要と判断されれば速やかに解除できる体制を整えています。

現場では「安全」と「本人の自由」の間で悩みながら最善を模索しています。今後は職種を超えたチームで環境整備を進め、拘束に頼らず安心して過ごせる療養環境づくりを目指します。



身体拘束最小化への取り組みについて語る
医療安全推進室
内野看護師長

あいくる活動報告

* あいくるとは・・・紀南病院地域連携室内に置かれた、「紀南地域在宅医療介護連携支援センター あいくる」のことで、地域の医療・介護・福祉関係者の連携を支援しています。

～あいくるの発表が

三重県地域医学大賞を受賞しました～

12月6日(土)、津市にて三重県地域包括ケア推進セミナー・第42回三重県地域医学研究会が開催され、あいくるが口演発表を行いました。タイトルは『あいくるの挑戦エピソードゼロ～多職種連携の深化と私の変化～』と題し、あいくるが設置された7年前から現在までを振り返り、地域やコーディネーターがどう変化していったのかを発表し、審査の結果、三重県地域医学大賞を受賞しました。今後あいくるは地域や人と人をつなぐ機関としての役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。



～あいくるのメンバーが串本町の

医療介護従事者向けに講演会を行いました～

10月24日(金)19:00～20:30、あいくるチーム員が串本町を訪問し、「在宅医療介護連携推進研修会」を開催しました。当日は40名ほどの専門職の方が参加され、あいくるの活動やみとりいな研修会、多職種連携運動会について発表した後、グループに分かれ、「課題に感じていることは何か?」「連携って必要?」といったテーマについて話し合いました。



研修会アンケートより

- ・連携の新しい概念が少し見えました。
- ・社会資源の少なさを理由にしがちであるが、その中で出来る支援を行うにはより一層多職種連携に取り組んでいきたいと思った。
- ・連携がテーマでしたが、仲良くなることで連携もスムーズにいく。何より楽しく仕事ができるのだと感じられた。
- ・医療機関の者です。介護の方々とどうすればスムーズな連携がとれるのか考えてきましたが、「フラットな」関係性という言葉に、ハッとさせられたと思います。どこかで病院の敷居を高くしてしまっていると感じました。

診療情報提供書の作成依頼について(お知らせ)

この度、院外関係機関からの診療情報提供書の作成依頼につきまして、個人情報保護の観点により、令和8年1月5日から、原則、文書による受付とさせていただきますこととなりました。

※ 事業所等から外来への電話での作成依頼は廃止となります。

申込方法につきましては、専用の作成依頼文書に必要事項をご記入いただき、総合受付にて申込手続きいただくか地域連携室宛てにFAX又は郵送していただくよう、お願い申し上げます。尚、作成依頼文書につきましては、病院総合受付前に設置及び病院ホームページからダウンロードが可能となっております。

ご不便ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

事務担当 紀南病院 地域連携室

「しっかり寝たつもりなのに日中に眠くなる」「いびきが大きい、呼吸が止まっていると言われた」 そんな心当たりはありますか?

当院では、眠っている間の呼吸の状態を調べる新しい検査機器を導入しました。軽くてコードの少ない機器のため、検査中の負担が少なく、普段に近い状態で眠ることができます。



睡眠時無呼吸症候群について語る
森倉臨床検査技師

これまで検査は木曜日のみの対応でしたが、新機器の導入により、月曜日も予約できるようになり、検査を受けやすい体制が整いました。眠りの質が低下すると、疲れが取れにくくなるだけでなく、将来の健康にも影響することがあります。朝すっきり起きられない、日中の眠気が続くなど、気になる症状がある方は、お気軽にご相談ください。

もしもの時に備えて ～災害訓練から見た受援体制の課題～

令和7年11月8日(土)に熊野市文化交流センターにて南紀災害医療勉強会が実施され、当院からは日本DMAT隊員の木村みどり看護主任が「災害訓練から見た受援体制の課題と改善策」について発表しました。



心があらぐ交流のひととき、 和みの会(がん患者と家族の会)開催

令和7年10月25日(土)当院にて患者さんやご家族、スタッフが集う交流会を開催しました。治療中の方や再発を経験された方など約10名が参加され、地元ユニットによるギター演奏に耳を傾けながら、懐かしい歌を口ずさんだり手拍子をしたりと、和やかな時間が流れました。



後半の語り合いの時間では、治療や生活への不安、前向きに過ごしたいという思いなどが自然に語られ、参加者同士が共感し合う姿が印象的でした。看護師も同席し、専門的な助言を交えながら、一人ひとりの気持ちに寄り添いました。

この交流会は、約4か月に1回のペースで開催しています。誰かに話すことで心が少し軽くなる、そんな温かな場をこれからも大切にしていきたいです。

和みの会サポートナース・田中 由美子看護師

【紀南病院 職員募集】

紀南病院では、地域医療を支える以下の職種を募集しています。

【医療職】

- ・医師(各診療科) ・看護師 ・理学療法士
- ・作業療法士 ・言語聴覚士 ・社会福祉士
- ・視能訓練士 ・眼科検査員

【事務・その他】

- ・医師事務作業補助者 ・当直代行者
- ・管理課労務員(障がい者雇用枠)

※常勤・非常勤、会計年度任用職員など、募集形態は職種により異なります。詳細は病院ホームページをご覧ください。総務課までお問い合わせください。



紀南病院外来診療担当表

令和8年1月1日現在
紀南病院 TEL:05979-2-1333

診療科	月	火	水	木	金
内科 (※紹介状要) (※受付11時迄) (専門外来は予約制)	診察1	北出 卓	北出 卓	北出 卓	北出 卓
	診察2	平山 貴寛	大部 颯馬	新田 淳	井上奈津実
	再診	小林 文人	小林 文人	小林 文人	小林 文人
	専門外来	血液内科外来 (第1・3週)(午後) 専門医	呼吸器病外来(月1回) 畑地 治	循環器内科・腎臓内科 (第4週)(午後) 小藪 助成	消化器外来 原田 哲朗
		リウマチ・膠原病外来 高見勇一郎	リウマチ・膠原病外来 高見勇一郎	血液内科・感染症内科 (第2週)(午後) 鈴木 圭	糖尿病外来 杉岡直弥(月2回) 住田安弘(月1回)
外科 (※受付11時迄)	1 診		加藤 弘幸	加藤 弘幸	
	2 診	中邑信一郎	辰巳 亜依		加藤 弘幸
				中邑信一郎	辰巳 亜依
整形外科 (※受付11時迄)	1 診	細井 敬	休 診	細井 敬	細井 敬
	2 診	加藤 祥		加藤 祥	加藤 祥
脳神経外科 (※受付11時迄)	1 診	仲尾 貢二	仲尾 貢二	(第1・3・4・5週) 辻 正範	仲尾 貢二
			漢方・リハビリ外来 (午前 予約制)	(第2週)(交代制) 青木一晃・箱崎浩一	
*眼科 (※受付11時迄)	1 診	植地 南月	久保 朗子	久保 朗子	植地 南月(第1・3・5) 久保 朗子(第2・4)
	2 診	園田 静花	植地 南月	植地 南月	園田 静花
小児科 (※受付11時迄)	1 診	須藤 直樹	須藤 直樹	須藤 直樹	須藤 直樹
		小児発達外来 (第1・3週 予約制) 成田 正明			
皮膚科 (※予約制)	1 診		午後 中山 裕一		午後 市川 彩夏 (交代制)
脳神経内科 (予約制) (※紹介状要)	1 診			松浦 慶太(隔月)	成田 有吾 谷口 彰
泌尿器科 (※受付11時迄)	1 診	栗本 勝弘 (予約再診)	栗本 勝弘	栗本 勝弘	栗本 勝弘(予約再診) 午後(交代制) 杉村 秀樹 有馬 公伸
耳鼻咽喉科 (※受付11時迄)	1 診			松浦徹(午前)	
歯科口腔外科 (※受付11時迄)	1 診	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二
健診センター	ドック 検 診	北出 卓	小林 文人	北出 卓	小林 文人
婦人科 (※予約制)	1 診			第2・4年後 非常勤医師(交代制)	
備 考	* 受付時間は午前7時30分～午前11時00分までです。 なお、当院を初めて受診される患者様及び診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。 * 内科初診は紹介状が必要です。紹介状無しで受診された場合、7,700 円の追加料金が発生します。紹介状があれば電話予約が可能です。 健康診断で異常を指摘された場合も、結果票が紹介状の代わりになる為、予約可能です。地域連携室までお電話下さい。 * 脳神経内科は紹介予約制の為、予約が必要です。 紹介状があれば電話予約が可能です。地域連携室までお電話下さい。 * 眼科は、小児(中学生まで)の検査は午後の為、予約が必要となります。午後2時以降に眼科外来までお電話下さい。 ※コンタクトレンズの取り扱いはありません。 * 皮膚科は完全予約制のため、予約が必要です。地域連携室までお電話下さい。 * 婦人科は完全予約制のため、予約が必要です。地域連携室までお電話下さい。 * 泌尿器科初診の場合、かかりつけ医がある場合は紹介状が必要です。 紹介状があれば電話予約が可能です。地域連携室までお電話下さい。 * 歯科口腔外科は紹介状が必要です。紹介状無しで初診受診された場合、5,500 円の追加料金が発生します。				



面会について

入院患者さんへの面会を希望される方は、下記の手続きを確認し、面会して下さい。面会できるのは原則3親等以内の親族となっています。未就学児、友人、知人などお見舞い目的の面会はご遠慮ください。

- ① 面会時間 14:00 ～ 19:00 * 左記時間内で 15 分以内とさせていただきます。
- ② 面会方法
 - ・ 面会者は、総合受付または時間外受付にて面会希望届を記入して下さい。
 - ・ 受付後、「面会許可シール」を配布しますので、貼付して病棟にお越し下さい。
 - ・ 面会の際は、ナースステーションにお声がけください。
 - ・ 面会終了後、面会許可シールは廃棄してください。
- ③ 面会条件
 - ・ 面会時は手指消毒を行い、面会者・患者共にマスクの着用をしてください。
 - ・ 患者の状態により、マスクの着用が困難な場合を除く
 - ・ 面会の人数は1回につき2名までとさせていただきます。
 - ・ 療養を妨げるような面会については、お断りさせていただくことがあります。

※ 面会時間以外(9:00～14:00)の着替えや洗濯物等の荷物の受け渡し場所
平日: 総合受付(外来棟2階) 休日: 時間外受付



面会される方は、面会希望届に記載してある【面会時の注意事項】をよく確認して下さい。
 診療科や病棟の特徴、個々の患者さんの状態や背景があるため、患者さんにより対応が異なる場合がございます。
 また、地域や院内の感染症発生状況に伴い対応が変更される場合があります。変更があった場合は、ホームページにてお知らせします。
 ご理解とご協力をお願いします。

1月1日時点での対応で、発生状況によって変更されます。